

ゆいだより



＜浜私幼絵画展～ぱんどろぼう～＞

絵本を読んだり、パンの写真を見たりしながら、どんなパンを作りたいか考えました。「私は大好きなメロンパン」「飛行機のパンがあったらいいな」とつぶやきながら、好きなパンや食べてみたいパンを紙だけでなく、綿やストローなど身近にある様々な素材を使ってつくりました。いろいろな素材を使って表現することの楽しさを感じ、思いの詰まったパンが完成しました。



＜大鍋＞

ゆり組は包丁を使って大根のいちょう切りをしました。合宿で野菜を切った経験を生かし、「左手は猫の手だね」「たくさん切りたいな」と張り切って取り組んでいました。今回は、保育者の手を借りず一人で挑戦し、「硬かったけど上手に切れたよ」と切った大根を得意気に見せてくれる子もいました。友達と一緒に調理する楽しさを感じた後には、大きい鍋に食材が入るところを見学しました。そして、出来上がると「大根見つけた!」「人参おいしいね」などと、いつも苦手そうに食べているものも進んで口に運ぶ姿が見られました。食材に興味をもち、友達と話題にしながら一緒に食べる楽しさを感じる機会となりました。



＜ごっこ遊びに向けて＞

「動物園」をテーマに必要なものを作りました。作りたい動物や植物などを話し合い、グループに分かれ、自分のアイデアを友達に伝えたり友達の思いを聞いたりして協力しながら進めてきました。その中で友達と意見が合わないことや、思いが共有できず思うように進まないなどの壁にぶつかることもありました。それでも、友達の良さに気付いたり、うまくいかないことを話し合って解決したりするなどして折り合いをつけていく経験を重ねながら進めてきたことで、一人ではできないことを協力して作り上げる楽しさや面白さを味わうことができました。



＜節分＞

まず、自分のお腹の中にある鬼はどんな鬼が想像しました。「僕はすぐだらしちゃう姿勢が悪い鬼」「私はすぐに泣いちゃう泣き虫鬼」など自分の弱いところや直したいところに向き合いイメージしたものを墨と絵の具で思い思いに描きました。豆まき会では「お腹の鬼をやっつけるぞ」と鬼の怖さを感じつつも、頑張って豆を投げ退治する姿が見られました。節分という行事を通して自分を見つめ直す機会になりました。これからもこの経験を保育に生かしていきます。



＜リリアン編み＞

子どもたちは冬の遊びに夢中になっています。廊下にこまの袋を展示しておくという声がかれました。失敗を繰り返しながらも何回か行う中でコツをつかみ、自分でリリアン編みを進める姿が見られるようになりました。完成すると「こまを入れてみたよ」と嬉しそうに友達や保育者に話したり、他の子に「きれいにできてすごいね」と言われたりしながら、頑張った達成感を味わっている姿が見られました。すぐには完成しないため、途中で諦めてしまいがちになる子もいましたが、褒めたり励ましたりして頑張っている姿を認めていくと気持ちを切り替えて取り組む姿が見られました。これからも最後までやり遂げようとする気持ちを育てていけるよう子どもたちを見守っていきます。そして、季節に合わせた遊びを大切にしていきます。



＜1月誕生会＞

「ステレオゲーム」をしました。まず誕生児が言葉を考え「さんはい」のあと、一人一文字ずつ一斉に言い、他の子は耳で聞いて何の言葉か当てるゲームです。2文字の言葉から始め、3文字、5文字と進めていくと、すべての音を聞き取るのが難しく、「もう一回!」「ヒントちょうだい」など苦戦している様子が見られました。遊びを通して、数字や文字、言葉に対する興味を育てていきます。